

生涯学習 がんばっています!

お父さんと一緒に将棋を始め、たくさん対戦して勝てるようになり、楽しんでいる女の子。家族で参加したビーチボールで、くやしさをバネに一生懸命がんばった男の子。

今月は生涯学習講座の「ふれあいひろば将棋クラブ」と「ビーチボール教室」に参加された方の声を紹介します。

ふれあいひろば将棋クラブに通って

富本麗菜さん



私は、四年生のときに弟とお父さんと一緒に将棋を始めました。最初は、駒の並べ方や動き方を知りませんでした。知っているのはお父さんだけだったので少し心配でした。

初日、行ってみると自分より小さい子や中学生の人までたくさんの方がいて楽しそうでした。私も、席にすわって駒の動き方や名前を覚えてもらいました。最初は、なかなか覚えられずに勝負もできませんでした。

でも、たくさん練習するうちにだんだん相手に勝てるようになって、クラブにきている人や先生とさすのが楽しくなってきました。家でも、将棋をするようになったり、将棋の本を買ったりして練習するようになりました。

守り方や攻め方を考えたり、改良してうまくいった時、すごくうれしいです。テレビを見て勉強するのも好きです。テレビでは、いろんな大会のことや、詰め将棋の問題などがあつてすごくおもしろいと思います。

二週間に一度毎回通っています。ちょっと回数が増えたらいいと思います。将棋は、最初は難しいけれど、すごく楽しいゲームです。なので、もっと将棋をやる人が増えてほしいです。特に女子が少ないのもっと来てほしいです。

ビーチボール教室に参加して

藤原伊久磨くん



ぼくは、ビーチボールを使ったバレー教室に、お父さんとお母さんと弟の家族四人で参加しました。社会教育センターに着くと、海に行った時に遊ぶフワフワのやわらかいボールが用意されていました。ボールが軽くて少しの力で遠くへ飛んでいくので、ぼくでも出来るスポーツだと思いました。

ルールを聞いてから、パスやサーブの練習をして、それからしあいをしました。最初、パスは思った方向になかなかあげられなかったり、サーブもコートの外に出してしまうなど、思っていたよりもむずかしかったです。一年生の弟も、サーブが入らずくやしがついていましたが、家族でがんばって練習する内に上手になりました。

しあいは、小学生はもちろん、中学生や大人の人たちともたいせんしました。どんなたいせん相手でも、まけるとすごくうれしいので、一生けんめいがんばりました。しあいでぼくのアタックが決まり、スカッとして気持ち良かったです。家族のみんなもいっしょによるこんでくれました。

合計三回の教室でしたが、とても楽しかったです。次にかいさいされるなら、またぜひたいに参加したいと思います。楽しい時間をありがとうございました。

キッズレポート

野球スポーツ少年団に入って

山崎亮くん

僕は、保育園年中組の時にスポーツ少年団に入り野球を始めました。

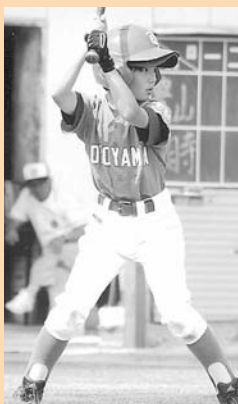
始めたきっかけは、父と兄の影響でした。始めたばかりの時はティーボールでした。ティーボールは止まっているボールを打つゲームなのでバットをボールに当てるのは簡単でした。でも、コロナ禍がって遠くに飛びませんでした。

一年生になると外野まで打てるようになりました。三年生になると軟式のボールになりました。四年生になると試合が始まり、これは過去のスポーツの歴史でも僕達の年代が初めての事でした。初めての試合はすごく緊張しましたが、勝ててとてもうれしかったです。

五年生になると試合も増え、一日二試合やる日もありました。六年生になると練習試合は減り、負けたら終わりのトーナメント大会ばかりになりました。

その中でもイチロー選手が六年生の時に出場した全国スポーツ愛知県大会に二十七年ぶりに出場出来た事は僕達の誇りです。

今のメンバーで野球をやるのはあと少しです。悔いが残らない様にもっと練習をして、一回でも多く勝ちたいです。



このページについての問合せ
生涯学習課生涯学習係 28・0396